



2024年2月13日

各位

株式会社インプレスホールディングス

代表者名：代表取締役社長 松本 大輔

(コード番号 9479 東証スタンダード市場)

問合せ先：取締役副社長 山手 章弘

(TEL : 03 - 6837 - 5000 代表)

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第3四半期連結会計期間（2023年10月1日～2023年12月31日）において、下記のとおり特別損失を計上しましたのでお知らせいたします。また、これに伴い、2023年8月10日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、配当予想につきましては、現時点での変更はありません。

記

1. 特別損失の計上

当社は、2023年12月19日付「連結子会社の「セカンドキャリア支援制度」の結果及び特別損失の計上に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、今後の早期収益改善を目的に、事業構造改革の一環としてセカンドキャリア支援制度及び追加の人員削減施策を実施し、人員の最適化に取り組んだことから、事業構造改革費136百万円を第3四半期連結会計期間に特別損失として計上いたしました。

2. 通期連結業績予想の修正について

■2024年3月期連結累計期間の連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2023年8月10日)	15,500	150	250	100	2.96円
今回修正予想 (B)	14,400	△360	△250	△700	△20.69円
増減額 (B-A)	△1,100	△510	△500	△800	
増減率	△7.1%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 2023年3月期	15,161	386	494	375	11.15円

#### 【修正の理由】

当第3四半期連結累計期間につきましては、ネットメディア及びプラットフォーム事業が想定を上回ったものの、利益率の高い既刊書籍が、前期の商品力の弱さの影響で出荷が減少・返品が増加したことに加え、上半期に発生した書籍等の刊行遅れの挽回を目指したリカバリー施策の遅れや、新型コロナを契機とした電子書籍やターゲットメディアの市場成長に対する鈍化も重なり、売上・利益ともに想定を大きく下回る業績進捗となりました。

第4四半期連結会計期間（3ヶ月）においては、第3四半期連結会計期間に実施した事業構造改革の実施に伴う編集者の人員減で、書籍等の刊行点数が大幅に減少したことに加え、ターゲットメディアのイベント・セミナーが当初の想定を下回り売上・利益ともに下方修正となる見通しです。

また、当期末において、前述の特別損失の計上に加え、将来の収益改善が見込まれる不採算事業の見直し等に係る特別損失（概算 200 百万円）の計上も検討していることなどを勘案し、通期連結業績予想を下方修正いたします。なお、追加の特別損失については、詳細が決まり次第、すみやかに公表いたします。

※ 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、さまざまな不確定要素が含まれております。実際の業績につきましては、今回の予想と異なる可能性があります。

以上

---

#### 【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレスホールディングス コーポレートコミュニケーション室 広報担当  
TEL: 03-6837-5000 代表 / E-mail: [release@impressholdings.com](mailto:release@impressholdings.com)  
URL: <https://www.impressholdings.com/>